

# 第3次西東京市農業振興計画 概要版

## 計画の目的・位置づけ

### ＜目的＞

- 都市農業を取り巻く環境の変化や、第2次西東京市農業振興計画の成果の検証等を踏まえ、市民・農業者等のニーズを的確に把握し、市内農業の振興を推進することを目的に本計画を作成を行う。

### ＜位置づけ＞

- 「西東京市第3次基本構想・基本計画」を上位計画とする農業分野の計画として位置付けられるとともに、「西東京市産業振興マスタープラン」に示された農業分野の振興方針をより具体的に示すもの。

### ＜計画の期間＞

- 計画全体の期間は令和6（2024）年度から令和15（2023）年度までの10年間とし、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化に応じて、適宜必要な見直しを行い、状況に即した計画とする。

## 西東京市の農業の現状と課題・目指す方向性

### ①農業生産・農産物流通・農業経営に係る現状と課題

- ・販売金額規模の小さな農業者が多く、その割合も微増傾向にある。
- ・直売所での販売や機会の拡充が求められている。
- ・環境に配慮した農業など、社会課題に対応した農業が求められている。

### ②農地の保全と活用に係る現状と課題

- ・1戸当たりの農地面積は小さく、農地の減少が進んでいる。
- ・防災の観点からも農地の保全に目が向けられている。

### ③農業者担い手・後継者・援農に係る現状と課題

- ・高齢化の進行、農業者の減少により担い手の不足が続いている。
- ・アルバイトやボランティアでの農業の手伝いなど農作業への関心が高まっている。
- ・意欲ある農業者に対する支援、資金的支援が求められている。

### ④農業を通じた交流に係る現状と課題

- ・市民農園、体験農園等の開設・需要が増えている。
- ・新たな農業の展開に向けて、“民”・“学”との連携、子どもたちへの教育への参画や社会課題としての事業展開に関心がある。
- ・市民と農をつなぐ地産地消の取組みや農業体験、販売イベント等の機会が求められている

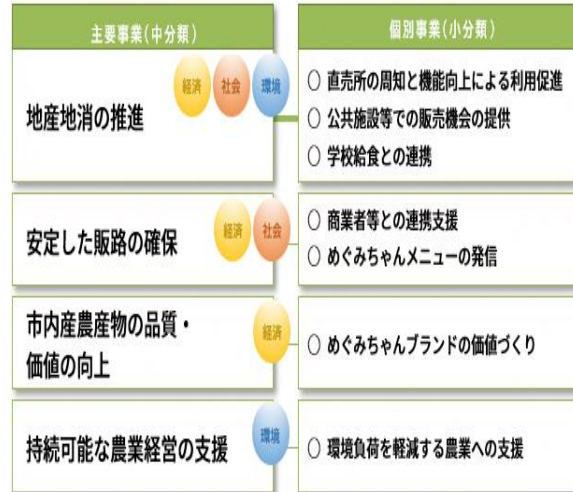
### ＜基本方針＞

- ① 食と暮らしを支える多様な農業経営を展開します。
- ② 都市の貴重な農地を保全するとともに、農地の多面的機能を発揮することで、市民生活に安らぎや潤いを与えます。
- ③ 多様な担い手が、生きがいややりがいを感じる農業をつくります。
- ④ 市民、地域及び行政等が一体となり、西東京市の農業を支える取組みを推進し、都市と農業が共生するまちをつくります。

## 計画の実現に向けた施策の展開

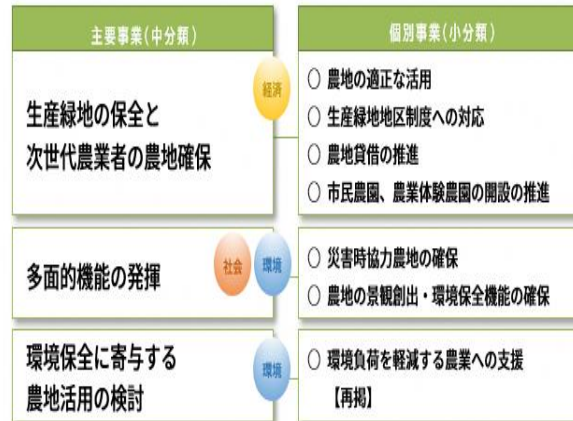
施策  
(大分類)

### ①食と暮らしを支える多様な農業経営



施策  
(大分類)

### ②農地の保全と活用



施策  
(大分類)

### ③多様な担い手が生きがいややりがいを感じる農業



施策  
(大分類)

### ④地域と協働する農業

